Pythonで可視化の基本的な話

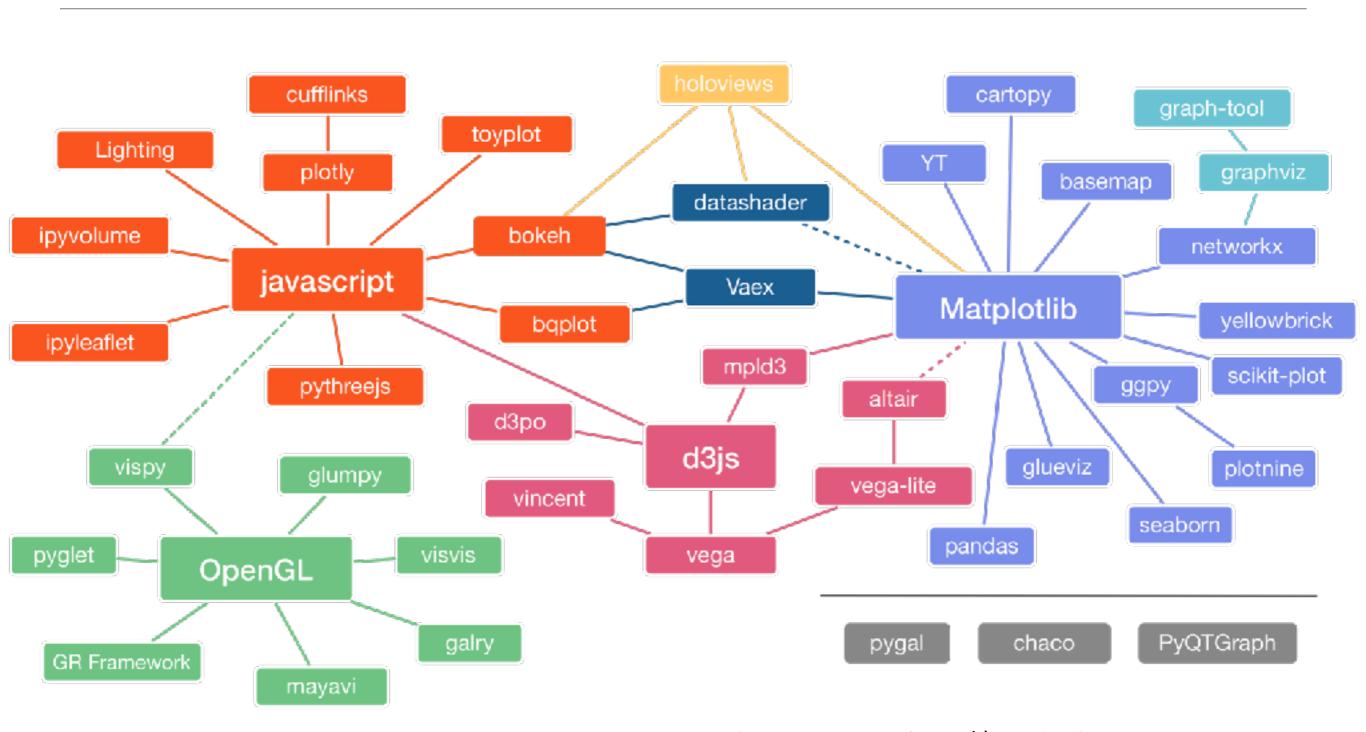
辻真吾 (@tsjshg) Start Python Club 9/22, 2022

お前、誰よ? (自己紹介)

- ・ 大学の研究所(東京大学先端科学技術研究センター)に勤めています
 - エネルギーシステムとバイオインフォマティクス
 - ・ 数理工学を専門としていきたい
- ・ 2010年に「Pythonスタートブック(初版)」を出版してから技術書を 何冊か執筆しています
- ・弟(修平)は画家をしています
- www.tsjshg.info

今日は可視化とWebアプリをまたぐ話をします

Pythonには可視化ライブラリがたくさんある



PyCon2017でのJake VanderPlasさんのトークで使われた図

https://github.com/rougier/python-visualization-landscape

(私が) よく使う方法

- Matplotlib系
 - ・ そのまま使う (10年前はいつもこれ)
 - pandasから使う(だいたいDataFrameなので結局、便利)
 - · seabornを使う(階層的クラスタリングの図などで)
- JavaScript系
 - · Plotly (最近のおすすめ)

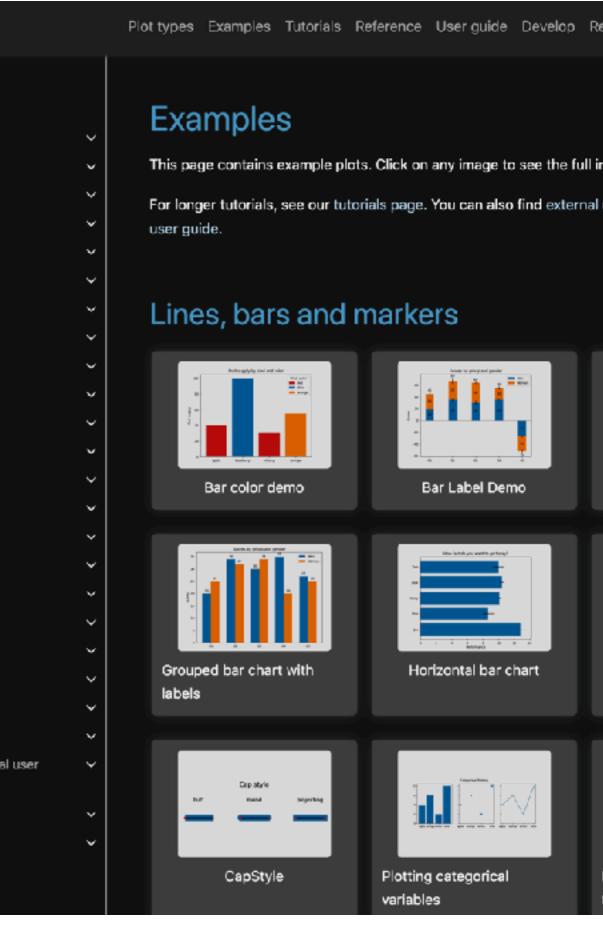
今日のサンプルデータ

```
from sklearn.datasets import load_iris
iris_data = load_iris()
import pandas as pd
iris = pd.DataFrame(data=iris_data.data, columns=iris_data.feature_names)
iris['species'] = [iris_data.target_names[i] for i in iris_data.target]
iris
      sepal length (cm) sepal width (cm) petal length (cm) petal width (cm) species
  0
                    5.1
                                     3.5
                                                       1.4
                                                                         0.2
                                                                               setosa
                   4.9
                                                                         0.2
                                     3.0
                                                       1.4
                                                                               setosa
   2
                   4.7
                                     3.2
                                                       1.3
                                                                        0.2
                                                                               setosa
                   4.6
                                      3.1
                                                                         0.2
   3
                                                       1.5
                                                                               setosa
                                                                        0.2
   4
                   5.0
                                     3.6
                                                       1.4
                                                                               setosa
                                                                         2.3 virginica
145
                    6.7
                                     3.0
                                                       5.2
146
                   6.3
                                     2.5
                                                       5.0
                                                                         1.9 virginica
147
                   6.5
                                                       5.2
                                                                         2.0 virginica
                                     3.0
                                                                         2.3 virginica
148
                   6.2
                                     3.4
                                                       5.4
149
                                                                         1.8 virginica
                    5.9
                                     3.0
                                                        5.1
150 rows × 5 columns
```

みんな大好きアヤメのデータ。最近はペンギンが流行っているらしい

Matplotlib

- ・ 最新のバージョンは3.6.0 (9/15, 2022)
- ・老舗MathWorks社製の数値シミュレーション ソフトMATLABで作られる出版品質の図を描け ることを目指して開発された
- 描き方のスタイルが大きくわけて2つある
 - MATLABスタイル
 - ・ オブジェクト指向スタイル
- ・ pandasやseabornの可視化機能はMatplotlibを 使って作られている
- ・ なんでもできるが、微調整の泥沼にはまると時間が解ける危険あり



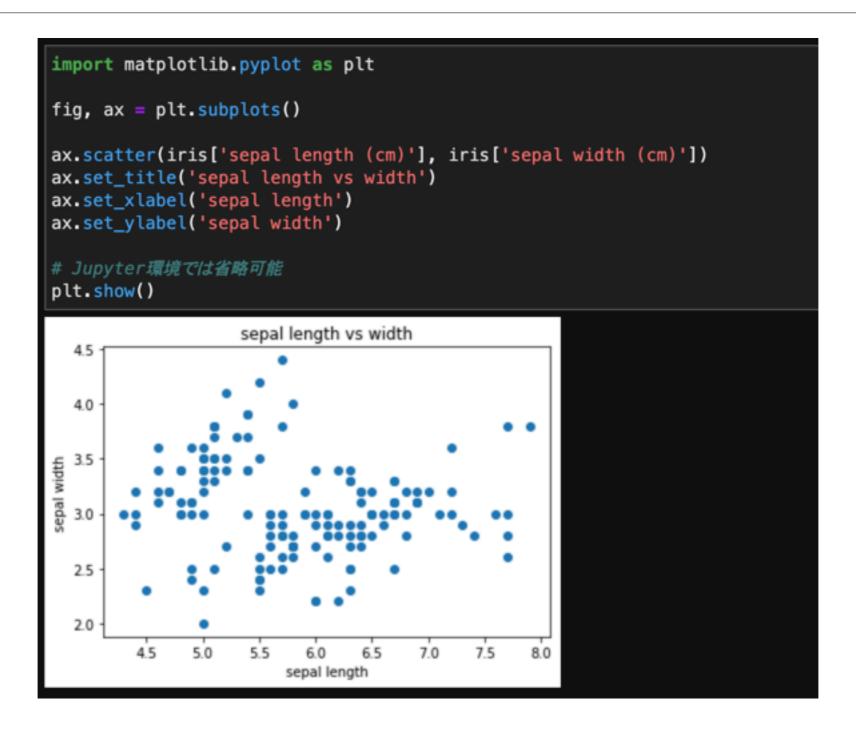
https://matplotlib.org/stable/index.html

MATLABスタイル

```
import matplotlib.pyplot as plt
plt.scatter(iris['sepal length (cm)'], iris['sepal width (cm)'])
plt.title('sepal length vs width')
plt.xlabel('sepal length')
plt.ylabel('sepal width')
# Jupyter環境では省略可能
plt.show()
                    sepal length vs width
  4.0
sepal width 3.5
  2.5
  2.0
                                       7.0
                                             7.5
         4.5
                                                   8.0
               5.0
                     5.5
                           6.0
                                 6.5
                         sepal length
```

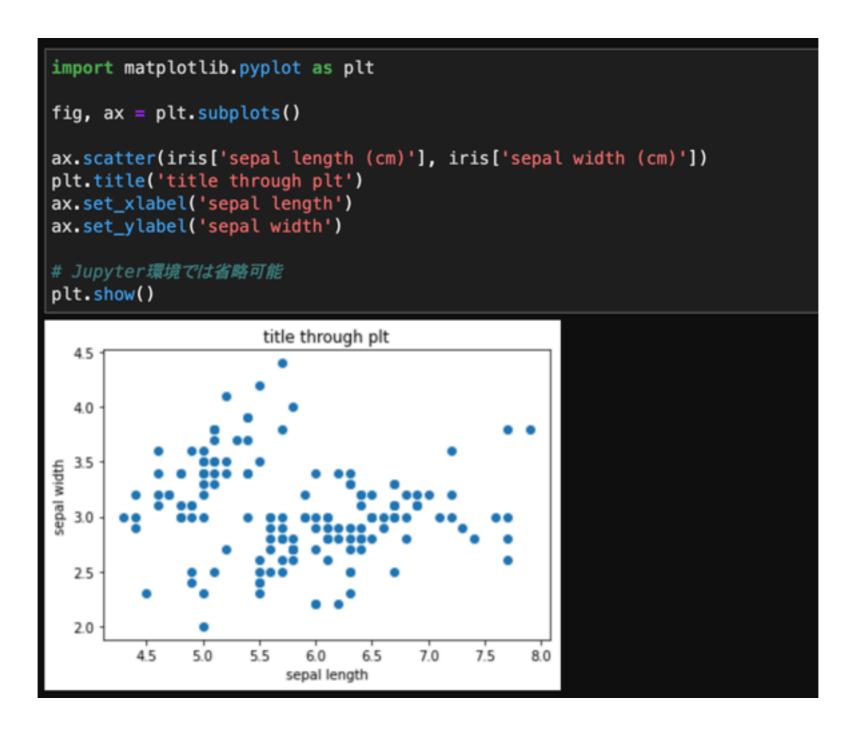
MATLABでの使い方と似た描き方(らしいです)

オブジェクト指向スタイル



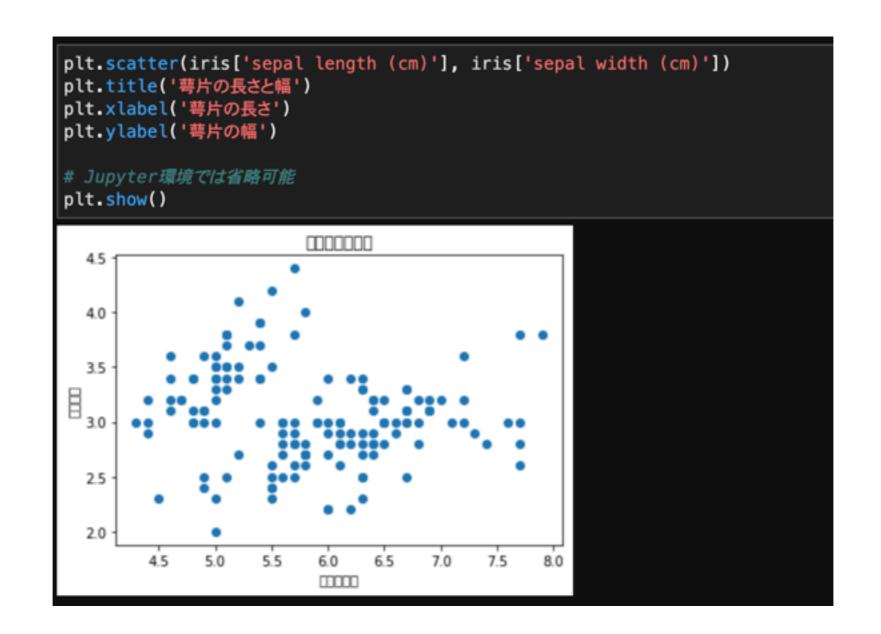
オブジェクトを作ってそこにデータやタイトルなどをセットしていくやり方

混ぜても危険ではない・・・



タイトルだけMATLABスタイルにしてみた例

世界の人々を悩ませる豆腐問題



Matplotlibの設定で正しいフォントを指定するという解決作が一般的だった

japanize-matplotlib



pipでインストールして、matplotlibの後にimportするだけでOK (パッケージの名前にハイフンとアンダースコアが混在することはよくあるので注意)

Matplotlibの生みの親

John Hunterは2012年8月に44歳の若さでこの世を去りました

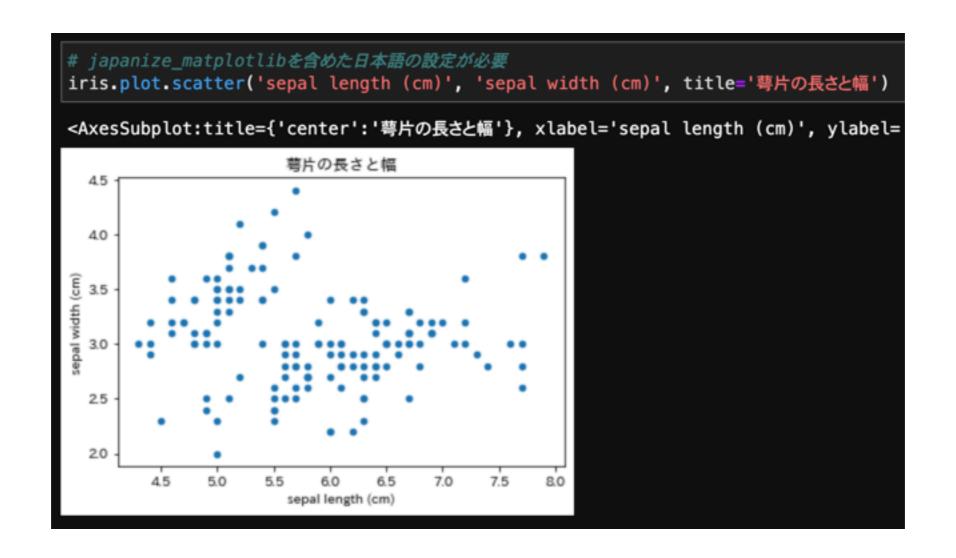


About John Hunter

John Hunter was the creator of Matplotlib and one of the founding board members of NumFOCUS. Husband to Miriam and father to three daughters—Clara, Ava, and Rahel—was diagnosed with cancer in late July 2012. He passed away on August 28, 2012 from complications arising from necessary cancer treatment.

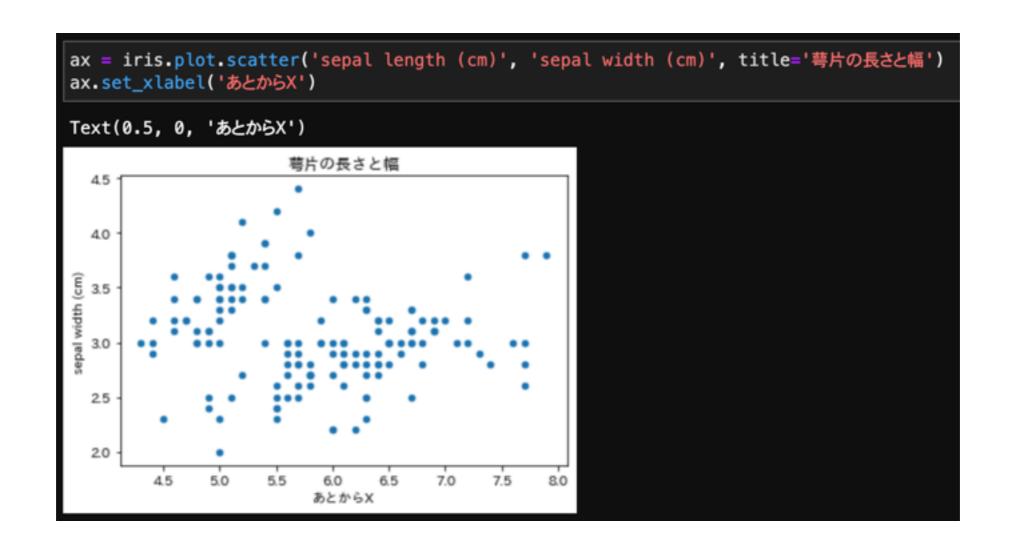
John Hunter Matplotlib Summer Fellowshipでは夏の3ヶ月間、フルタイムでMatplotlibの開発に貢献できる学生さん(1~2人)をサポート Matplotlibの辣腕コントリビュータからの指導あり

pandas.DataFrameになっているなら



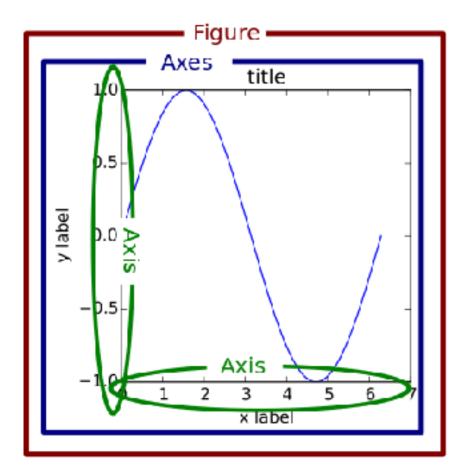
列名を指定するだけでよいので便利 タイトルなどはメソッドの引数で調整可能

基本はMatplotlibなので



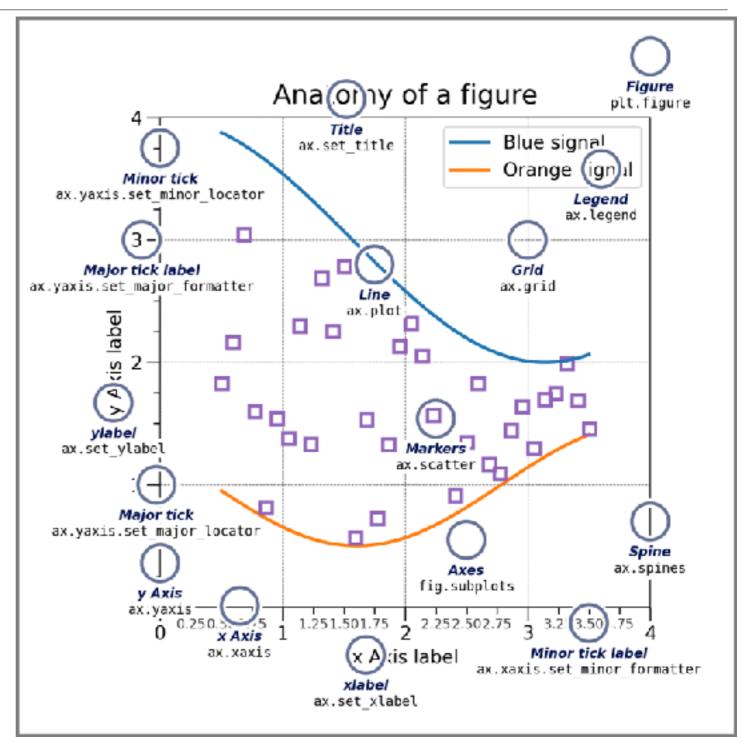
X軸のラベルを「あとからX」へ変更 pandasのメソッドの戻り値はAxesSubplotオブジェクト

Matplotlibを完全に理解したい方へ

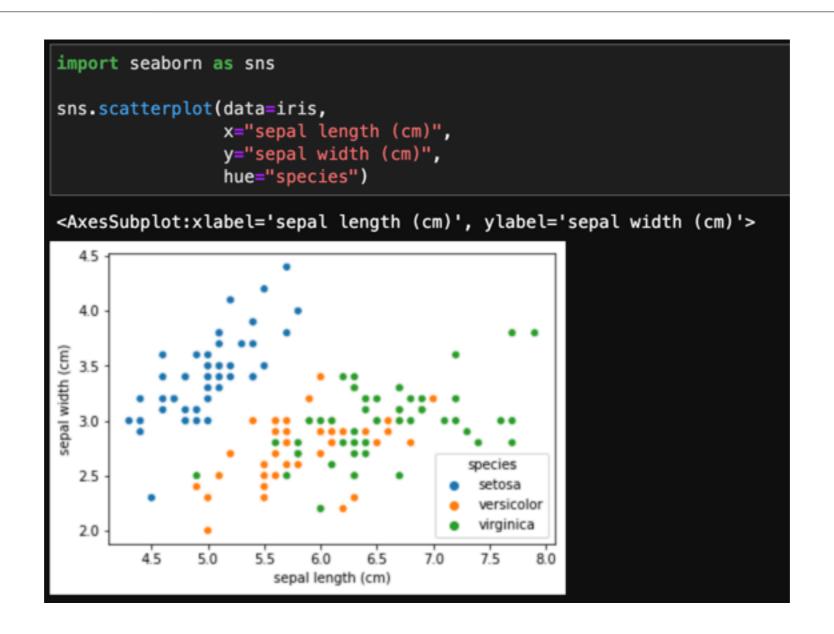


https://matplotlib.org/1.5.1/faq/usage_faq.html



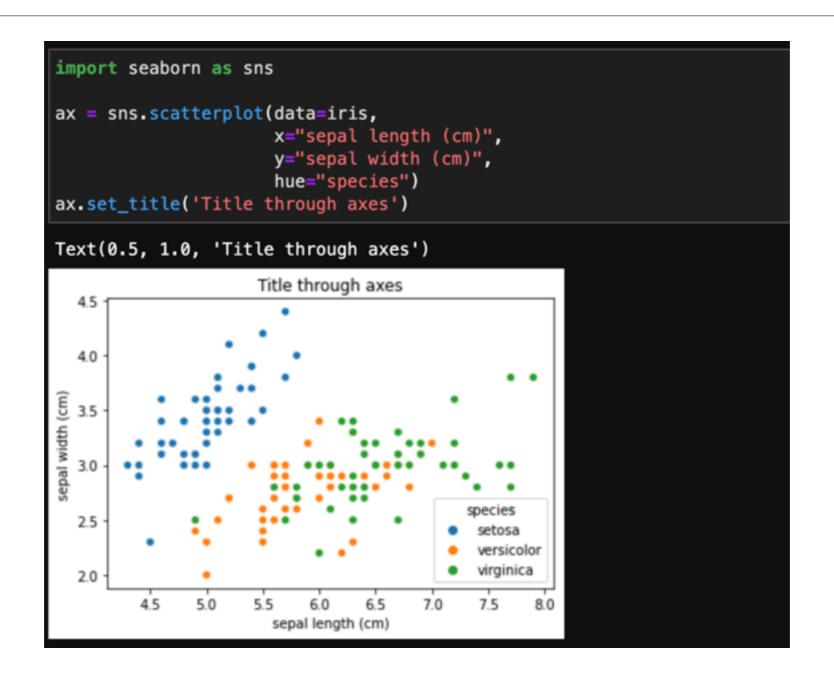


seabornはいろいろ簡単にできる



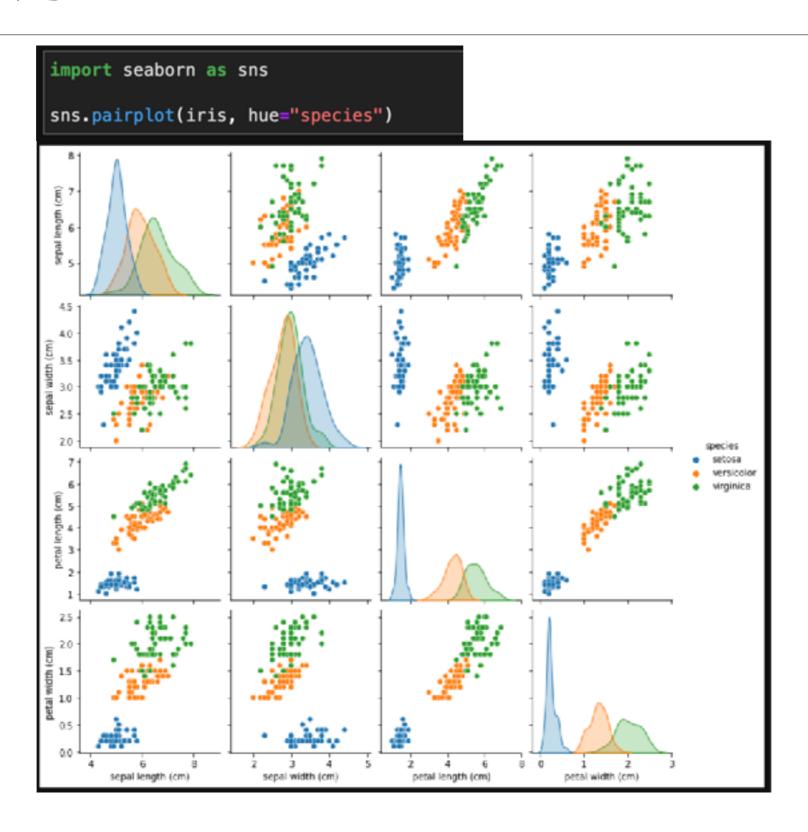
Data引数にDataFrameを渡すことが前提になった設計 hue引数で色分けも簡単

Matplotlibを知っているとさらに良い

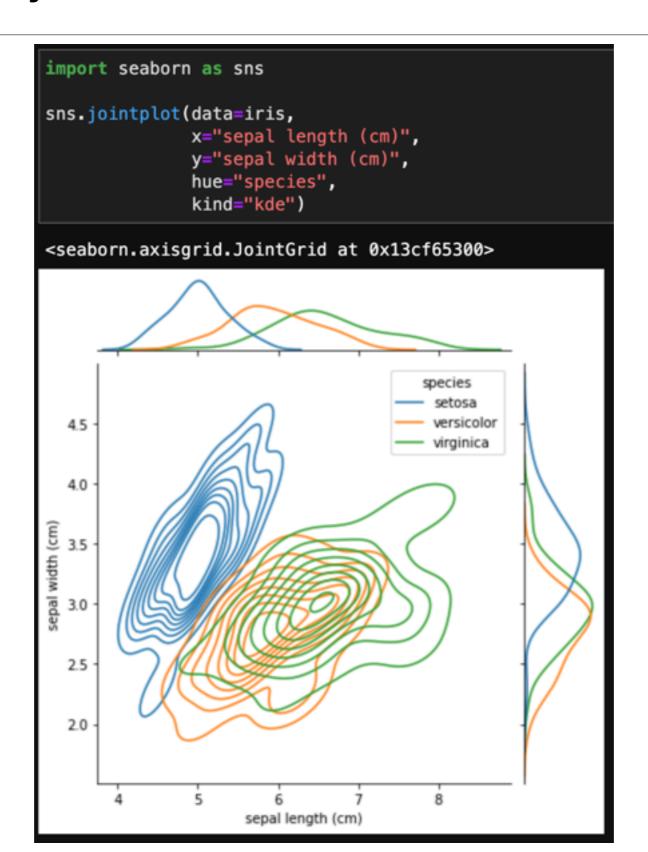


裏側はMatplotlibなのでseabornの引数でできないこともMatplotlibが分かればできる

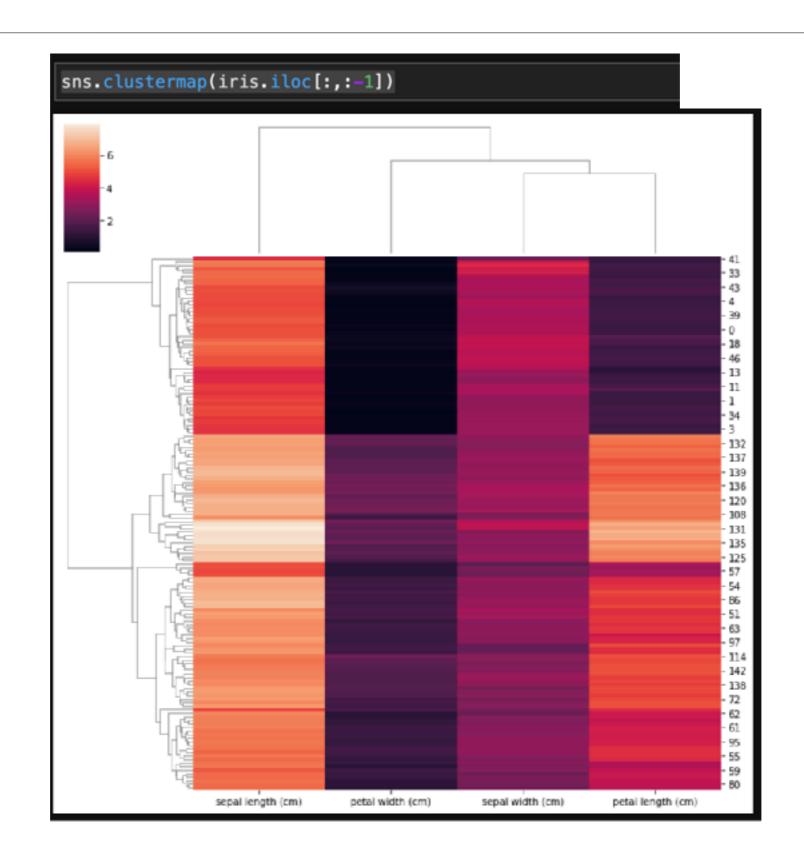
散布図行列



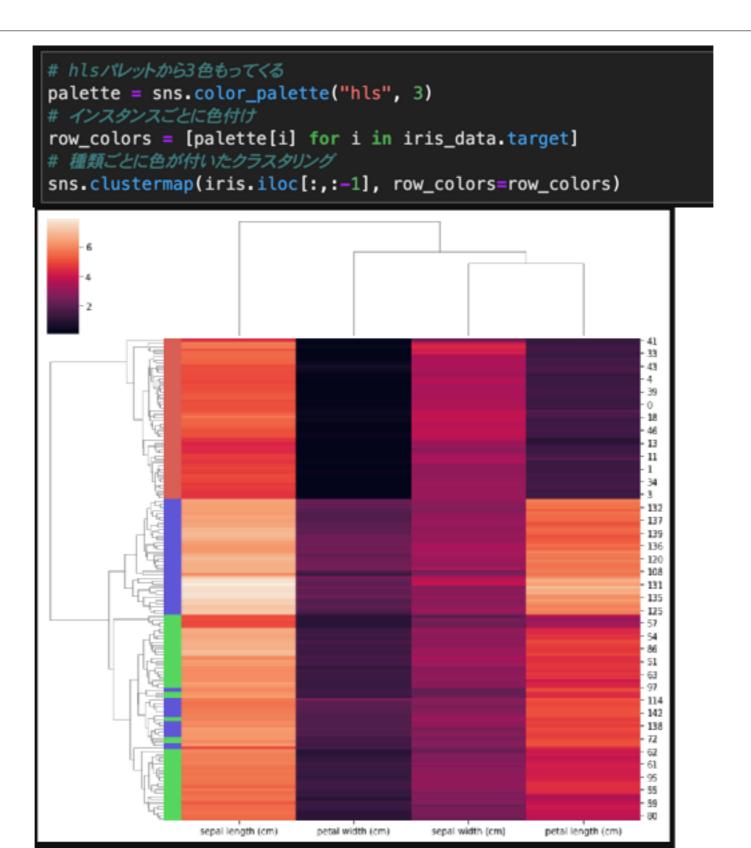
jointplot Kernel Density Estimationを使った分布の推定



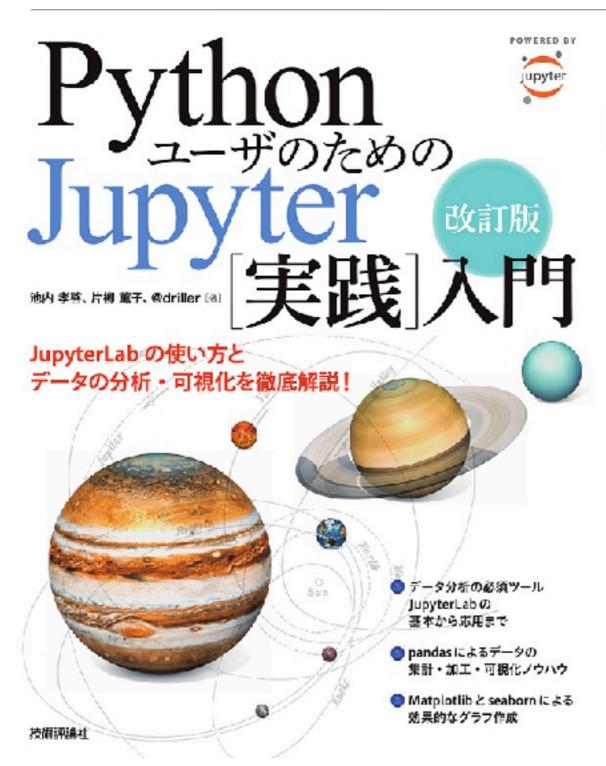
階層的クラスタリング



種類ごとに色を付ける



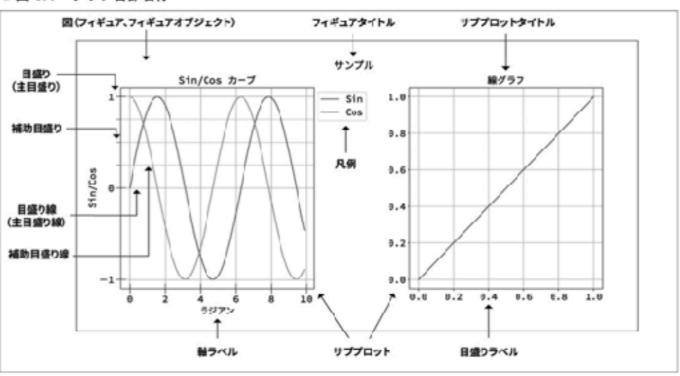
Matplotlib~seabornを知りたい方へおすすめ



▌ グラフの名称

本書では、数値データを可視化する「グラフ」を取り扱います。グラフの 各部名称は図0.1の通り定義します。

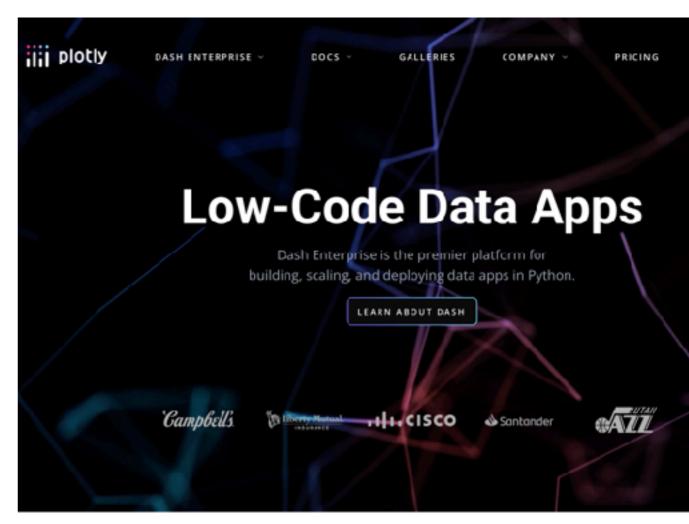
◎ 図 0.1 グラフ各部名称



Amazonの試し読みページより 詳しい解説があるので分かりやすい

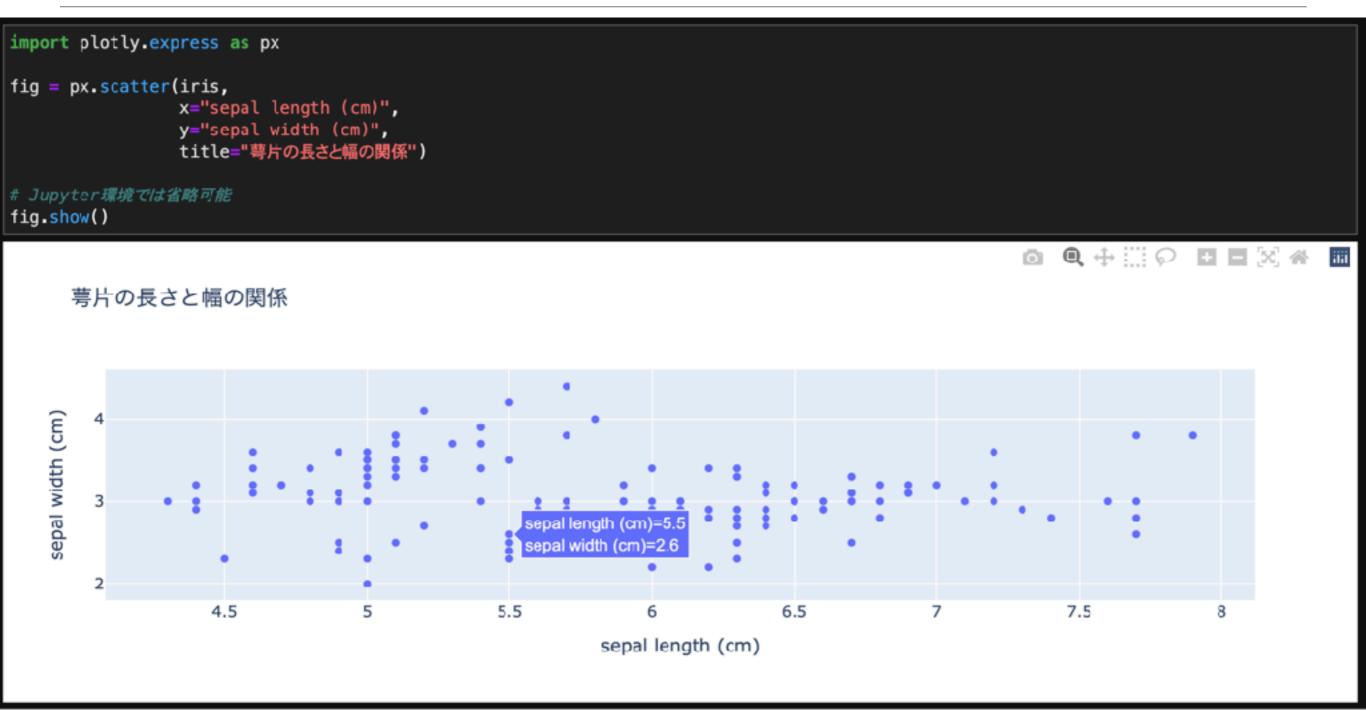
Plotly

- JavaScript系の可視化ライブラリーPlotlyとデータサイエンス向けWeb アプリケーションフレームワーク Dashを開発する会社
- Python以外の言語(R, Julia, F#など)に対応
- PlotlyやDashはオープンソースソフトウェア
- ・ Dashアプリのホスティングなどで収 入を得ている模様



plotly.com

インタラクティブな可視化に便利



日本語の表示も問題なし 右上のツールで画像の保存、インタラクティブな拡大縮小が可能

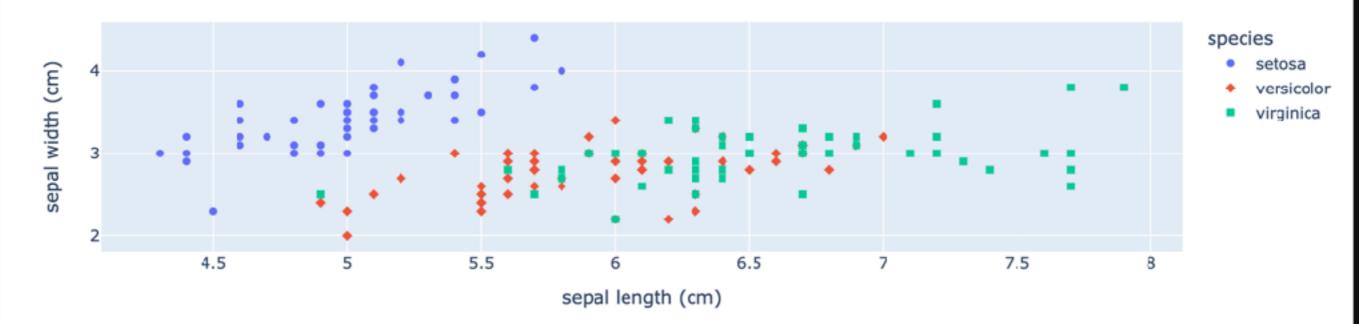
hover_data引数

```
import plotly.express as px
fig = px.scatter(iris,
                x="sepal length (cm)",
                y="sepal width (cm)",
                title="萼片の長さと幅の関係",
                hover_data=["petal length (cm)", "petal width (cm)", "species"]
# Jupyter環境では省略可能
fig.show()
                                                                                                    萼片の長さと幅の関係
   sepal width (cm)
                                                   sepal length (cm)=5.5
                                                   sepal width (cm)=2.6
                                                   petal length (cm)=4.4
                                                   petal width (cm)=1.2
                                                   species=versicolor
        2
                    4.5
                                                5.5
                                                               6
                                                                            6.5
                                                                                           7
                                                                                                        7.5
                                                          sepal length (cm)
```

DataFrameの列名を指定すればそのデータが表示される

色づけも簡単

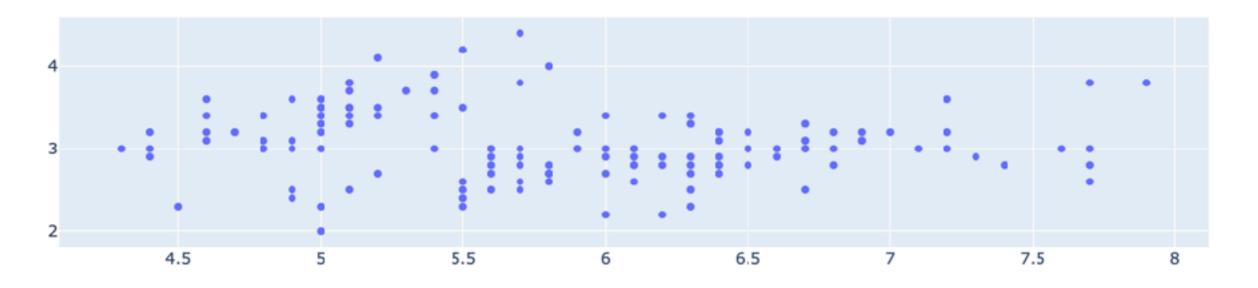
萼片の長さと幅の関係



symbol引数で点の形も変えています

こんな書き方もある

萼片の長さと幅

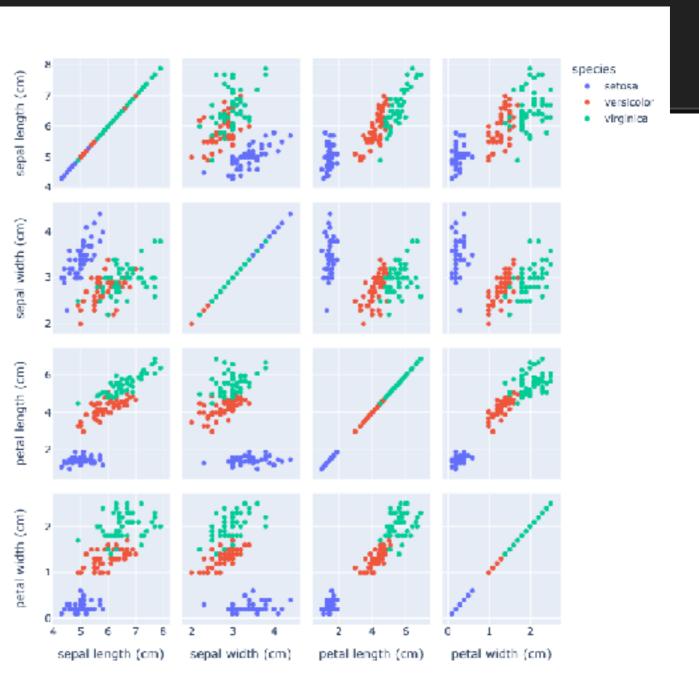


すいません。正直ほとんど使ったことありません・・・

散布図行列(対角成分は同じ変数の散布図)



後からの変更は fig.update_layoutメソッドでも可能



データ可視化のWebアプリフレームワーク



A faster way to build and share data apps

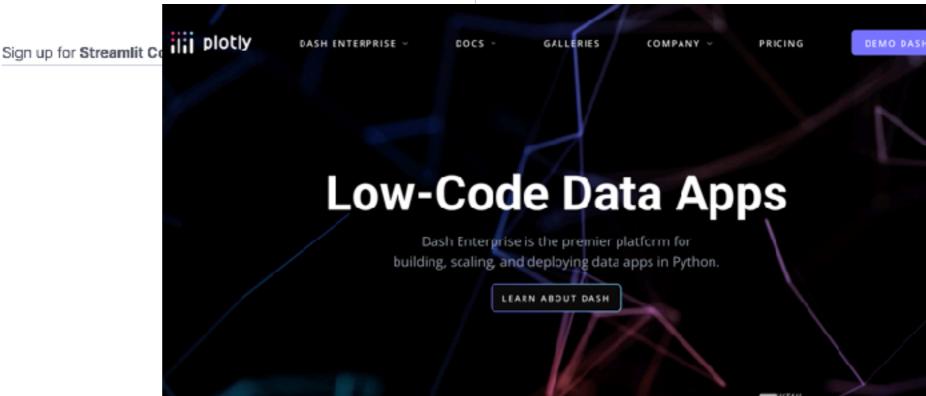
Streamlit turns data scripts into shareable web apps in minutes.

All in pure Python. No front-end experience required.

https://plotly.com/

Try Streamlit now

https://streamlit.io/



デモ コードは以下のGithub Gistにあります

https://gist.github.com/tsjshg/97fc91a8bfc50e495a5296c06569629f

Streamlit or Dash?

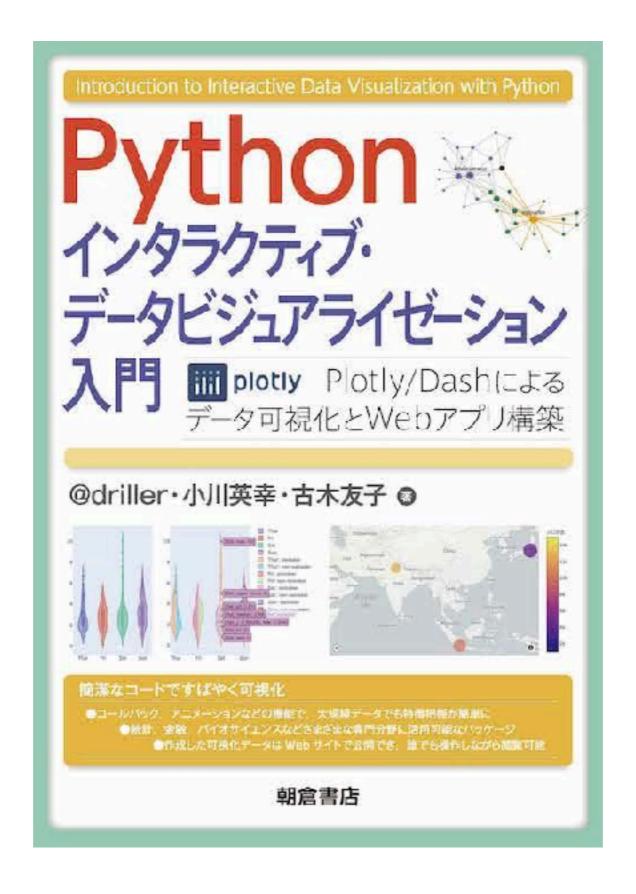
Streamlit

- Pythonだけでデータサイエンス用Web アプリが簡単に作れる
- ・ △用意された基本デザインを踏襲する 必要がありそう
- ・ OHTTPレスポンスに時間がかかる場合 もよしなに対応
- ・ △認証の仕組みが作りにくい?
- ・ 〇二ッキーの記事がある
 - https://nikkie-ftnext.hatenablog.com/ entry/streamlit-magical-cache

Dash

- レイアウトのためにはHTMLとCSSの 知識もあった方がよい
- ・ 〇自由で柔軟なデザインが可能
- ・ △タイムアウトエラーが起きるような 場合はコードを変更する必要
- · OBASIC認証ならすぐに実装できる
- ・ 〇日本語の解説本がある

Pythonインタラクティブ・データビジュアライゼーション入門(朝倉書店)



https://www.asakura.co.jp/detail.php?book_code=12258

まとめ

- ・ MatplotlibはPythonで可視化の基本
 - ただ、そのままだとすこし不便
 - ・pandasやseabornの利用が便利
 - Matplotlibを知っていると細かいことができる
- JavaScriptを使ったインタラクティブな可視化
 - · Plotlyが便利 (Bokehの感想を誰かに教えてほしい)
- データサイエンス向けWebアプリケーションフレームワーク
 - Streamlitは少ないコードでそれなりのWebアプリがすぐできる
 - ・ HTMLやCSSの知識があるならDashで凝ったアプリを作ることもできるかも